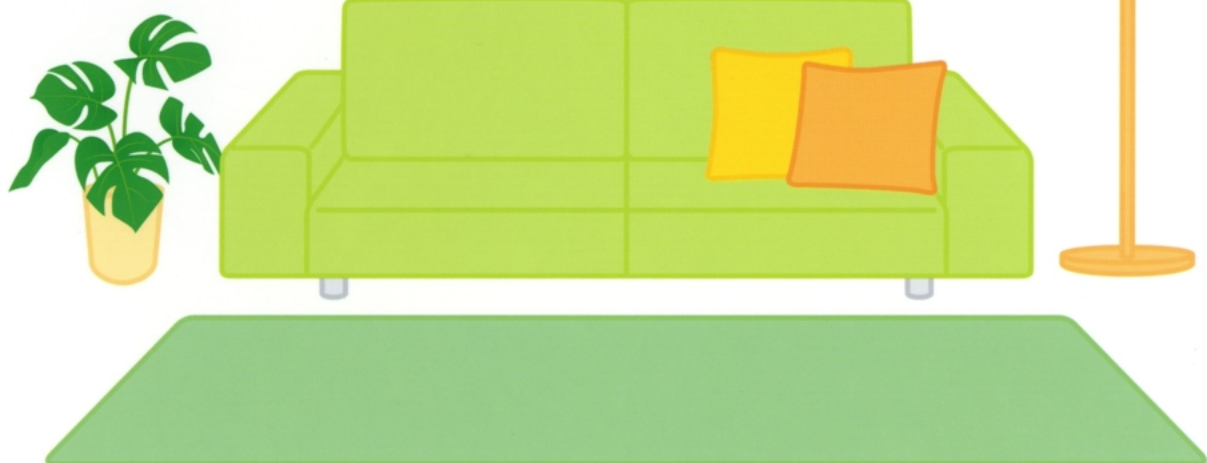


スギ花粉アレルギーや、ダニアレルギーの働きを抑える

新機能性壁紙

抗アレルギー壁紙 アレルブロック



ルノン株式会社

スギ花粉アレルギーや、ダニアレルギーの働きを抑える

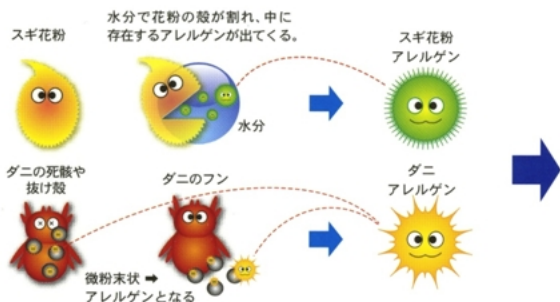
抗アレルギー壁紙 アレルブロック

「抗アレルギー壁紙・アレルブロック」は、スギ花粉や、ダニに含まれるアレルギーを吸着し、不活性化（働きを抑える）壁紙です。室内の面積の多い壁を有効活用。快適空間づくりのお手伝いをいたします。

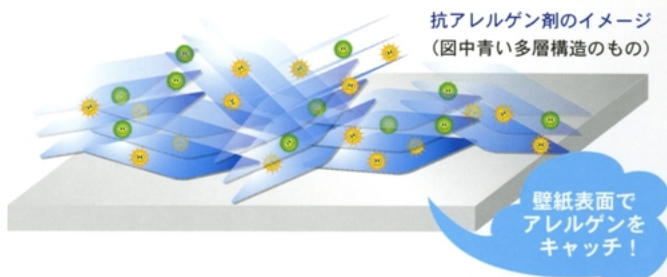
「抗アレルギー剤」について

室内に存在するアレルギー物質

※スギ花粉やダニの死骸、フンなどにアレルギー物質が含まれています。ダニが死んでもアレルギーは残り、スギ花粉も知らない間に室内に入り込みます。

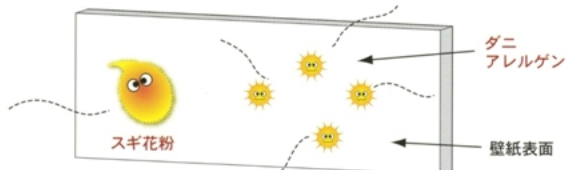


天然鉱物由来の無機系「抗アレルギー剤」の多層構造にアレルギーは入り込みます。この「抗アレルギー剤」を表面層全面にコーティングした壁紙が、「抗アレルギー壁紙・アレルブロック」です。

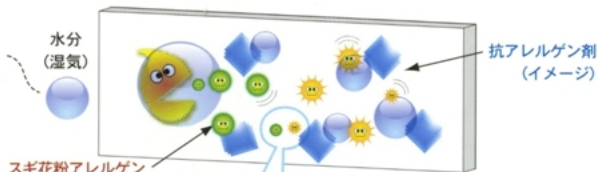


アレルギー不活性化メカニズム

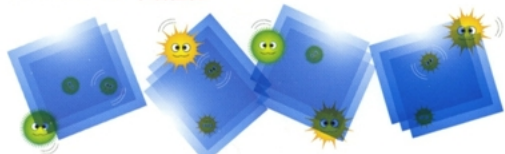
①空中に浮遊する、ダニの死骸やフンの微粉末＝ダニアレルギーや、スギ花粉が、空気の流れで壁紙表面に付着する。



②空気中や壁紙表面の水分(湿気)により、アレルギーが出てくる。そして表面の湿気や水分で、抗アレルギー剤に接触する。

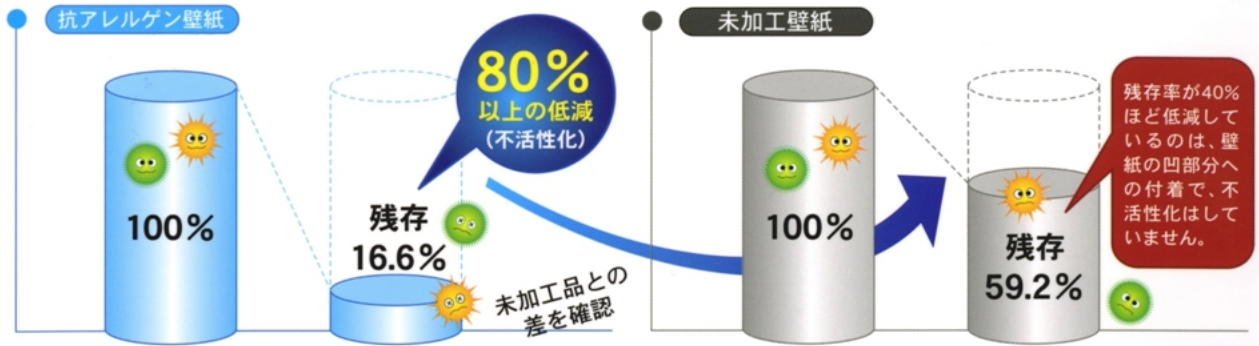


③アレルギーが抗アレルギー剤の層間に入り込み吸着する。
→アレルギーが不活性化



抗アレルギー壁紙の性能【アレルギー低減性能】

アレルギー低減性能試験で、未加工品とのアレルギー残存率を測定・比較しました。



◆アレルギー低減性能試験方法 ↑

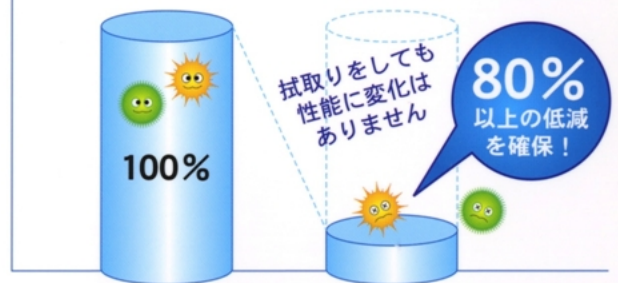
スギ花粉アレルギー溶液に抗アレルギー壁紙をいれ、一定時間後の残存アレルギー量を測定。未加工壁紙も同様の試験を行い、残存アレルギー量を比較しました。

※アレルギーの低減効果は、一定の試験条件下(16時間後)のもので、スギ花粉アレルギー量は、酵素免疫測定法(ELISA法)にて測定。

◆中性洗剤拭取り後の試験結果 →

中性洗剤を使用した拭取りの後、上記試験を行ったところ、同様の低減性能を確保しました。数値から薬剤のはがれ落ちが無いことを確認しました。

●中性洗剤拭取り後の性能試験 (抗アレルギー壁紙)

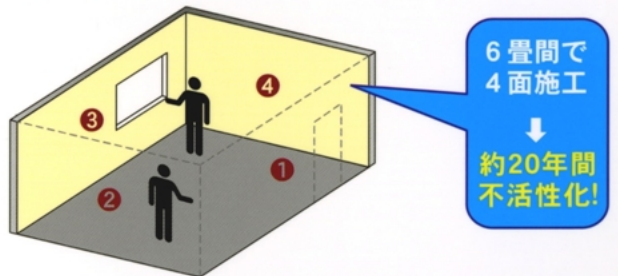


抗アレルギー壁紙の有効使用㎡数

6畳間、壁紙4面(約30㎡)の抗アレルギー壁紙の施工で、約20年想定分のスギ花粉アレルギーを不活性化する塗布量設定です。

※上記想定は、室内空気のスギ花粉個数とスギ花粉アレルギー濃度から算出した理論計算です。実空間での体感値は、個人差や、室内環境の違いにより異なります。

※アレルギーを抑えるには、日ごろのお掃除が欠かせません。



抗アレルギー剤の安全性

抗アレルギー剤の安全性は、「SEK基準(社団法人繊維評価技術協議会)」に準じて、経口毒性・変異原性・皮膚刺激性をテスト。右表のように「SEK基準」を満足する安全性が確認されています。

※社団法人繊維評価技術協議会の抗菌防臭加工の安全性基準に準じています。

項目	薬剤の安全データ	SEK基準(参考)
経口毒性(LD50)	2000mg/kg以上	1000mg/kg以上
変異原性(Amesテスト)	陰性	陰性
皮膚刺激性試験	無刺激性	無刺激性・弱刺激性
皮膚感受性試験	陰性	陰性

おすすめ使用空間

- 外部からスギ花粉が最初に多く入り込む玄関・廊下・LDに。

※花粉を持ち込まないよう家に入る前にはたいたり、花粉が付きにくい素材の衣服を着ることも大切です。



- 就寝時の室内空気環境のケアを考慮寝室に。

※安心できる環境を作るためには、こまめなお掃除も必要です。抗アレルギー壁紙とともに、アレルギー対策を行って下さい。





R-6001

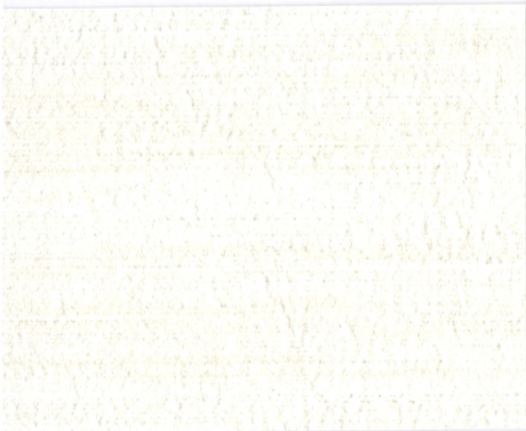
機能性 ■抗アレルギー ■防カビ

準不燃 防火種別 2-2

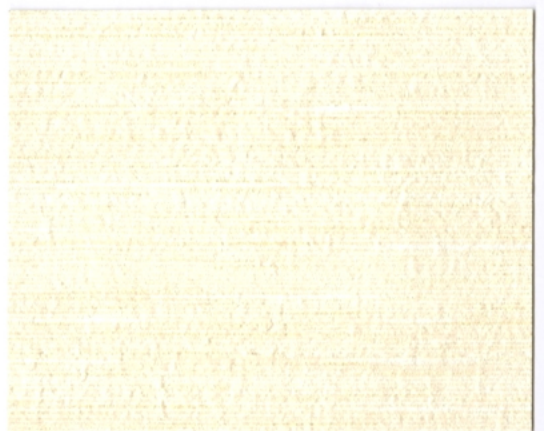


R-6002

巾92.5cm 切売可



R-6003



R-6004



R-6005

機能性 ■抗アレルギー ■防カビ

準不燃 防火種別 2-2



R-6006

巾92.0cm 切売可 †46.0cm ↔ 46.0cm

スチフラワーアレルギーや、ダニアレルギーの働きを抑える

抗アレルギー壁紙 アレルブロック

価格 1,300円/m (1,410円/m²)

〈材料価格・税抜き価格〉



R-6007

機能性 ■抗アレルギー ■防カビ

準不燃 防火種別 2-2



R-6008

巾92.5cm 切売可 †27.0cm ↔ 46.1cm (エンボスリビート・無地貼可)



R-6009



R-6010



R-6011

機能性 ■抗アレルギー ■防カビ

準不燃 防火種別 2-2



R-6012

巾92.0cm 切売可 ↔ 23.0cm (無地貼可)

材料区分	防火種別	防火性能 (直張り)							
		不燃下地		不燃石膏ボード		準不燃下地		金属	
塩化ビニル樹脂系壁紙	2-2	準不燃	QM-9413	準不燃	QM-9413	準不燃	QM-9413	難燃	RM-9232

より快適に「抗アレルギー壁紙・アレルブロック」をお使いいただくためには、住まいの環境整備も、欠かすことのできない重要なポイントです。厚生労働省の「小児喘息の疫学、診断、治療と保健指導」に物理的環境調整としてダニアレルゲンからの回避が解説されていますので、ご紹介します。

最近のアレルギー疾患の多発の原因としては室内のチリダニの増加が重要視されています。増加した理由は、室内の密閉化(アルミサッシ、木造から鉄筋、モルタルへ)、冷暖房化、室内家具の増加、カーベットの多用、大掃除がないこと、窓の開閉が少ないこと、などによります。ダニの発育条件として、チリダニの場合は、室温25℃前後、相対湿度75%前後。室内湿度の調整が重要です。

家庭中のダニの除去を目的とした室内環境改善のための注意

- ①床の掃除:床の掃除機かけはできるだけ毎日実行することが望ましい。少なくとも、3日に1回は20秒/mの時間をかけて実行することが望まれます。
- ②畳床の掃除:畳床のダニと寝具は相互汚染があるので、特に掃除機かけには注意が必要です。3日に1回は20秒/mの時間をかけて実行することが望まれます。
- ③床以外の清掃:電気の傘、タンスの天板なども年に1回は徹底した拭き掃除をすることが望まれます。
- ④寝具類の管理:寝具類の管理は、喘息発作を予防する上でも特に大切です。1週間に1回は20秒/mの時間をかけて、シーツを外して寝具両面に直接に掃除機をかける必要があります。
- ⑤布団カバー、シーツの使用:こまめなカバー替え、シーツ替えをすることが望まれます。ダニの通過できない高密度繊維のカバー、シーツはより有効です。
- ⑥大掃除の提唱:室内環境中のダニ数は、管理の行き届かない部分での大増殖が認められるので、年に1回は大掃除の必要です。

「抗アレルギー壁紙・アレルブロック」と

こまめなお掃除で、安心できる住まいの環境整備を。

スギ花粉に関しても、掃除の重要性が多く語られています。内容をご紹介します。

花粉症は「国民病」と呼ばれるほどに蔓延し、特にスギ花粉症患者の増加がめざましく、国民の4人に1人、25%がスギ花粉症だといわれています。花粉症時期の花粉対策には、室内の掃除もとても重要になってきます。この時期の掃除のポイントや正しい掃除機のかけ方を知っておきましょう。

●掃除の基本

室内に入り込んでしまった花粉を掃除することはとても大事なことなのですが、まずは室内に花粉を入り込ませないことも重要です。花粉はどうしても窓の隙間や、外出した際に着ていた洋服について室内に入ってきます。が、この時期は極力窓を開けないようにする、家に入る前に着ていた洋服全体にブラシをかけるなどして、花粉を室内に入り込ませない工夫をしましょう。

そして掃除をする際、シート式(シートは乾いているタイプ)の使い捨てワイパーなどで一度床を拭いてから、掃除機をかけるといいでしょ。フローリングの床はもちろん、畳の場合にも、先に使い捨てワイパーをかけることをおすすめします。

●掃除機のかけ方

床の素材が何でできているかによって変わってきます。畳やフローリングの場合、まずは使い捨てワイパーで床を拭いたら、それぞれの素材の目に沿って掃除機をかけていきます。さらにどちらの場合も掃除機をかけ終わったら、固く絞った雑巾でさらに床を拭くといいでしょ。雑巾は洗濯機の脱水機でしぼるのがおすすめです。畳の場合、雑巾を濡らす際の水に、お酢(2~3リットルの水に対して大さじ5杯くらいを目安に)を入れて使うと、雑菌の繁殖を抑えたり、畳の青みをよみがえらせることができるので、より効果的です。

カーベットの場合には縦方向と横方向に2度かけていきます。こうすることでカーベットの毛足が前後左右に動かされるので、より奥に入り込んだ花粉や汚れを吸い取ることができます。また掃除機をかける際、引くときは押すときよりも力を弱めると床から掃除機が離れず、余計な空気を舞い上げないので、確実にカーベットの上的花粉や汚れを吸い取ることができます。

ルノン株式会社

http://www.runon.co.jp mail address:runon@sin.suminoe.co.jp

お問合せ、ご用命はお近くの弊社営業部、営業所までお願いいたします。

本社営業部	大田区平和島6-1-1 東京流通センター AE5-3	〒 143-0006	TEL. 03-3767-3403	FAX. 03-3767-3440
近畿中日本営業部	大阪市鶴見区茨田大宮2-2-8	〒 538-0031	TEL. 06-6913-5353	FAX. 06-6913-5331
札幌営業所	札幌市北区新琴似町786-1	〒 001-0915	TEL. 011-765-2033	FAX. 011-765-2038
仙台営業所	仙台市若林区六丁の目元町3-5	〒 984-0014	TEL. 022-286-9411	FAX. 022-286-9456
新潟営業所	新潟市中央区高志2-9-15	〒 950-0926	TEL. 025-287-5141	FAX. 025-287-5142
小山営業所	小山市城東1-2-28	〒 323-0807	TEL. 0285-22-4777	FAX. 0285-22-4811
高崎営業所	高崎市高岡町450-3 1階5番	〒 370-0043	TEL. 027-324-6175	FAX. 027-324-6176
埼玉営業所	さいたま市北区宮原町2-23-11 ツミタビル	〒 331-0812	TEL. 048-665-1841	FAX. 048-665-1848
千葉営業所	千葉市中央区弁天1-30-10	〒 260-0045	TEL. 043-254-6127	FAX. 043-254-6100
多摩営業所	府中市本町2-20-63 ヴェルデ府中本町ステーションプラザ1F	〒 183-0027	TEL. 042-351-6325	FAX. 042-351-6326
横浜営業所	横浜市中区鶴町1-4-5 N Sビル3F	〒 231-0028	TEL. 045-222-1266	FAX. 045-212-3672
静岡営業所	静岡市駿河区寿町7-17-2	〒 422-8055	TEL. 054-283-1610	FAX. 054-283-1640
名古屋営業所	名古屋市昭和区明月町3-20	〒 466-0034	TEL. 052-853-7581	FAX. 052-853-7583
北陸営業所	金沢市新保本5-107	〒 921-8062	TEL. 076-249-8657	FAX. 076-249-8658
堺営業所	堺市北区新金岡町5-7-518	〒 591-8021	TEL. 072-240-1160	FAX. 072-240-1161
京都営業所	京都市南区東九条北島丸町1番地 SOUTH POINT HOUSEN 1-C	〒 601-8017	TEL. 075-693-3335	FAX. 075-693-3358
神戸営業所	神戸市兵庫区三川口町2-5-11 池田ビル1F	〒 652-0815	TEL. 078-579-4350	FAX. 078-579-4351
広島営業所	広島市南区霞2-9-6	〒 734-0037	TEL. 082-256-3777	FAX. 082-256-3780
福岡営業所	福岡市博多区豊2-2-79	〒 812-0042	TEL. 092-471-8501	FAX. 092-473-6359
本社	品川区西五反田2-30-4 B R 五反田ビル6F	〒 141-0031	TEL. 03-3492-7341	FAX. 03-3493-5843